

生命システム情報専修

基本理念

- ・現代の生命科学はまさに複合(境界)領域であり、そのために必要な
生物・化学・物理・情報を偏ることなくすべて身に着ける必要がある。
- ・具体的には、分子・細胞・組織・器官・個体・個体群という**生命システム**における様々な階層を統合的に理解し、生命システムを**物理のことば**や**化学のことば**で語り、**情報論的**に説明できる素養を身に付けた人材を輩出する。
- ・このような人材の育成は、今までにも増して、産業界およびアカデミアにおいて強く求められており、本専修の主な教育研究分野として、特に、
①創薬・ヘルスケア、**②環境・エネルギー**、**③脳・神経**、という3つの分野への社会的貢献を出口として掲げる。

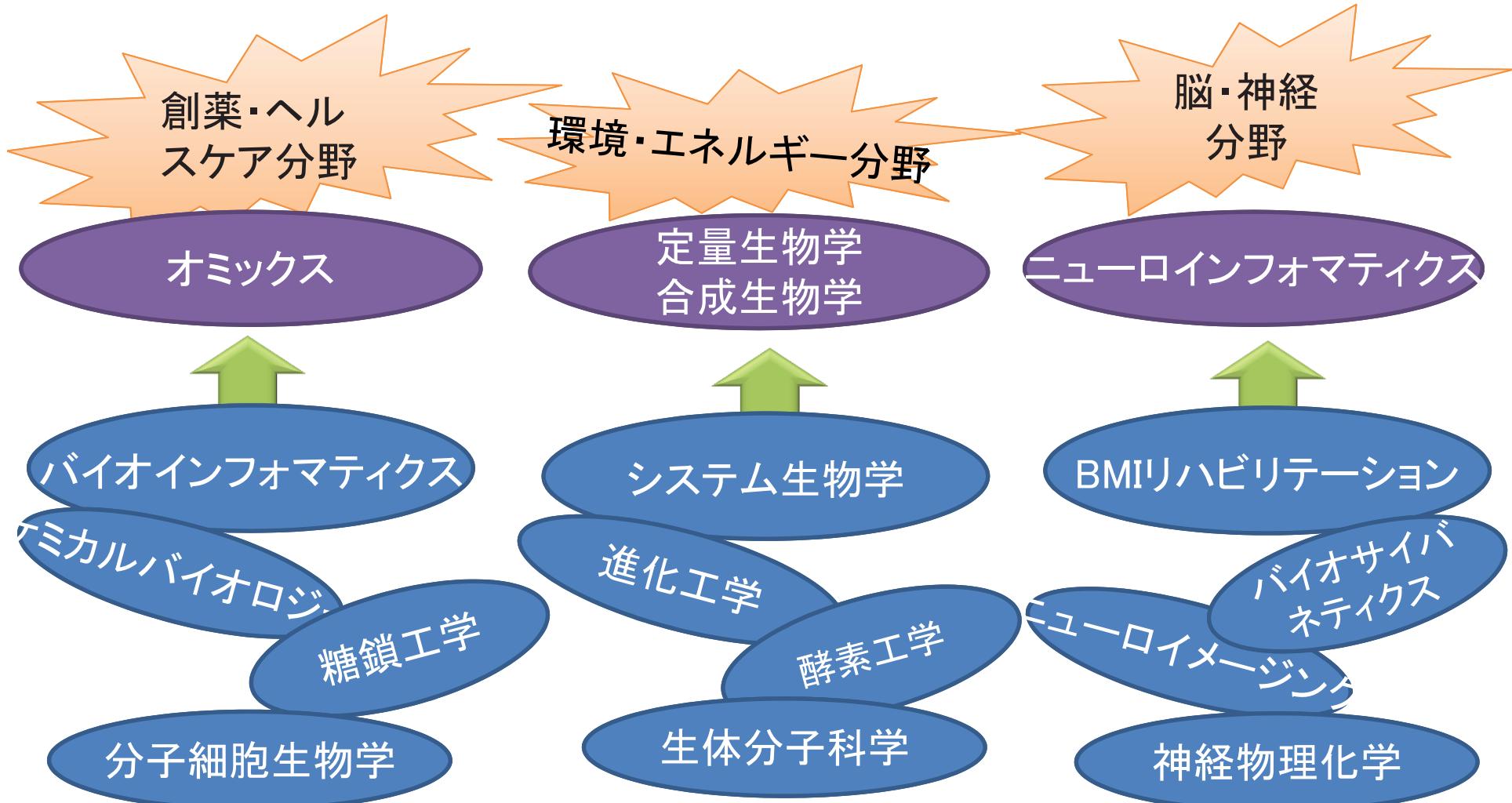
生命システム情報専修

学問分野

- ・生命情報学科との直結を前提として6年間一貫教育を意識し、生命情報の4つの柱である生物・化学・物理・情報を横断的に習得するカリキュラムを用意する。



生命システム情報専修



基盤学術と学問分野